

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	富士あけぼの園 吉原中央・進		
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームで利用者様の「個」に焦点を当てた支援の実施を行うこと。	高学年や中高生の多い吉原中央・進において日々の療育だけでなく、「進学」や「就労」という大きな目標に対してどのようなアプローチが可能なのか、職員、利用者様、保護者様、関係機関と連携を図り、方針を決めている。進学についても合格実績あり。	就労体験が出来る機会や機関を増やしていき、利用者様がより広い視点を持てるよう支援してゆく。またその為の情報収集に努める。
2	配置される職員全員が有資格者であること。	活動プログラムや専門的支援にあたり、専門的視点及び知識を反映するよう心掛け、より効果的な支援を目指している。また職員研修等の場においても上記の知識を反映させた資料を作成し、月に一回以上実施している。	利用者様だけでなく、保護者様も含め、知識や療育方法を共有し、ステークホルダー全体で取り組みが出来る体制を促進してゆく。また研修に関しては、新しく入職した職員も自身の専門的知識を活かして、講師担当が出来るよう計画してゆく。
3	防災意識を高く持ち、毎月必ず防災訓練を実施している。	防災に関しては、日々の積み重ねが非常に重要で、有事の際の「命の継続」に繋がると言える。毎月訓練内容を変えながら(地震、火事、風水害、避難訓練など)利用者様及び職員の防災意識醸成促進を目指している。	防災訓練で学んだことをアウトプットすることも非常に重要である。自身の言葉でどのような訓練を行ったのか、家庭ではどのようなことを考え、対策が必要なのかなど、共有できるよう支援体制を強化してゆく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発表会や納涼祭以外に、保護者が集まったり研修を受けられる機会を設けていく。	これまで保護者会を計画してきたものの、感染症の流行との兼ね合いで断念せざるを得ない経緯があった。	これまでの取り組みやノウハウを形にして、保護者を交えた勉強会を実施してゆく。そのための感染症流行状況等の情報取得に努め、早い段階での計画を行ってゆく。
2	日々の児童の活動の場を見ていただく機会を増やしてゆく。	日々の活動について、連絡帳や保護者様への口頭説明、インスタグラムでの報告を行っているが、一部の保護者様より「最近の様子が分からない」とのご意見を頂いた。そのような状況が無いように、別の手段を講じる必要がある。	子育てサポートの観点から、普段の活動や療育の場に保護者様が参加できるよう計画を進めていく。
3			